

## 2018年度報告書

兵庫県立三田西陵高等学校 2年 児玉智星

7月25日から8月8日までの2週間、私は三田市の姉妹都市であるブルーマウンテンズ市に三田市の派遣生として行かせていただきました。この素晴らしい2週間のことを報告したいと思います。

### ①ウィンマリーハイスクールについて

私が2週間通った学校は、公立の高校で12歳から18歳までが学ぶウィンマリーハイスクールです。オーストラリアの学校は4学期制で、1月から始まります。固定のクラスはなく、自分の取りたい授業をとる大学のような仕組みでした。

生徒は授業中も先生に当てられなくても自主的に発言し、生徒同士で意見の交換なども行っており、積極性があるなと思いました。また、各教室にプロジェクターが設置されておりパワーポイントを使って授業をしていました。インターネットも頻繁に使用していて全ての授業でスマホはもちろん、パソコンも使っていました。

昼食時に生徒は教室から閉め出され、外に出て昼食を取るようになります。降雨の少ないオーストラリア ブルーマウンテンズならではの昼食風景です。

また通学は大半の学生はそれぞれの家族に自家用車で送迎してもらうか、スクールバスを利用することになります。

### ②自然について

ブルーマウンテンズ市は、自然が豊かで様々な動物を見ることができます。朝から夕方まで鳥の鳴く声がずっと聞こえます。オーストラリアの国鳥は kookaburra(ワライカワセミ)で国花は golden wattle(ミモザ)です。私はどちらも見ることができました。私のお気に入りの鳥は cockatoo です。日本ではキバタンと呼ばれています。見た目は可愛らしいのですが鳴くと、とにかくうるさいです。外で食べ物を食べていると時には 100 羽単位で近くに来ることがあります。とても愉快的な鳥でした。いたるところに森があり冬の時期はブッシュウォークをして楽しみます。ブッシュウォークとは、森の中を歩いて自然を楽しむ遊びで蛇のいない冬の時期に行います。私もホストファミリーと一緒に3回ほどブッシュウォークを楽しみました。大きな公園には野生のカンガルーもいました。ウォンバットの巣穴も見ることができました。



Cockatoo



kookaburra



Kangaroo



golden wattle

### ③ホームステイについて

私は二週間 Creelman ファミリーの家にホームステイさせていただきました。Creelman ファミリーはお父さん、お母さん、長女、長男、次女の5人家族です。長女は一人暮らしのため、今は家にいませんでした。主に私は次女の14歳の Hannah と一緒にいました。オーストラリアについて日のお昼に初めて学校で Hannah と出会いました。笑顔で Hi! と言ってくれてうれしかったことを覚えています。ホストの両親は共働きで、お兄さんも社会人なので夕方ごろに帰ってきます。その日の夕方に Creelman ファミリー全員と対面しました。本当に温かく迎えてくれたので、不安が一気に吹き飛びました。Creelman ファミリーとの最初の土曜日は次女 Hannah のネットボールの試合を見に行きました。ネットボールは日本ではあまり馴染みがありませんがバスケットボールのような競技です。日曜日は朝9時から教会に行きました。教会で礼拝するのは初めてだったので貴重な体験ができました。その後日曜学校にも参加しました。



Winmalee church

先生家族と Hannah と男の子と私でお昼ご飯を食べてから先生の家に行き、少し遊んだ後 Esther (神話の1つ)について学びました。

帰ってから4歳のいとこの Sam も一緒に Jellybean pool と national park に連れて行って

いただきました。Jellybean pool は湖で周りには大きな岩がありました。夏には泳ぐこともできるとお父さんが教えてくれました。その後 national park を散策しました。

野生のカンガルーやきれいな鳥たちに出会うことができ、肌でオーストラリアの大自然を感じることができました。



With host family



Jellybean pool

月曜日からは学校でした。Hannah の友達とも話せるようになり毎日学校に行くのが楽しみでした。その日から有馬高校の生徒も Winmalee high school に海外研修で来ており、一週間一緒に過ごしました。火曜日はブルーマウンテンズの市長訪問があり、市長にブルーマウンテンズ議会の仕組みやブルーマウンテンズ市について教えていただきました。少しの間だけでしたが、市長とお話できてよかったです。その後、ユネスコの世界遺産にも登録されている three sisters を見に行き、three sisters の物語を教えてもらいました。昔、美しい三人の姉妹がある三兄弟に恋をしたのですが、姉妹の親が反対したため姉妹を岩に変えてしまったそうです。この三姉妹の物語はいろいろなアボリジニの人達による言い伝えがあります。



Bluemountain' s government



three sisters

水曜日はシドニーを観光しました。シドニーへは電車で1時間15分ほどで行くことが

できます。ハーバーブリッジを歩いて行くと、シドニーの景色が一望できました。有名なオペラハウスも見ることができました。セントメアリー大聖堂には、色とりどりのステンドグラスや石像などがありました。ブルーマウンテンズとは違った街の雰囲気や匂いが感じられました。



Sydney



Sydney opera house

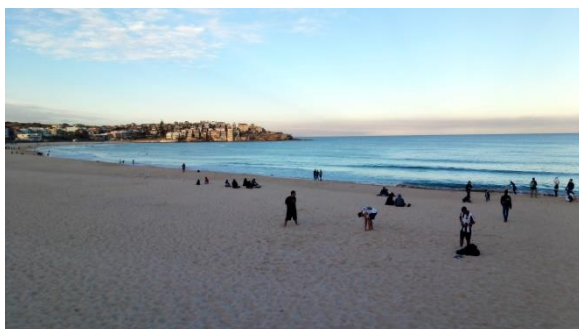


St. Mary' s Cathedral



Harbor Bridge

最後の土曜日はラグビーの試合に連れて行っていただきました。試合前にボンダイビーチに寄りました。海と夕日のコントラストが素晴らしかったです。Creelman ファミリーはシドニー・ルースターズの大ファンでゲームをいつも楽しみにしていました。私はラグビーのルールを知らなかったのですが、Creelman ファミリーがルールを教えてくれたおかげでゲームを楽しめました。



Bondi beach



Allianz stadium

日曜日は車でマランガルーへ訪れました。ここではロッククライミングを楽しみ、Glow Worm Tunnelに行きました。Glow wormとは光る虫という意味です。そのトンネルは昔、炭鉱の列車の通り道として使われていたそうです。トンネルの中は真っ暗で、スマホのライトで足元を照らしながら前に進みます。ライトを消すと緑色に光る Glow worm(土ボタル)が無数にいて、まるでプラネタリウムのような感じでした。Creelman ファミリーが丁寧に色々なことを教えてくれて勉強になりました。



Glow worm tunnel



Rock climbing

翌月曜日、私は日本語クラスで日本についてのプレゼンテーションをしました。今流行っていることや日本の学校について紹介しました。皆、真剣に聞いてくれて発表後には良かったよ！と言ってくれ嬉しかったです。帰宅後も Creelman ファミリーの前でも同じプレゼンテーションをしたところ、日本の学校についてもっと教えて！と興味を持ってくれ、そこから更に話題を広げることができました。

火曜日が最終登校日でした。学校の友達とお別れするのが嫌でした。同時に Creelman ファミリーとお別れも迫っていました。その日は夜遅くまで Creelman ファミリーと話しをしました。水曜日の早朝が Creelman ファミリーとお別れで、少し泣いてしまいました。最後はみんなとハグをしました。感謝の気持ちを伝えることができて良かったです。二週間という短い間でしたが本当の家族のように接してくれた Creelman ファミリーへの感謝の気持ちで一杯です。これからも連絡を取り続けようと思います。



Creelman family

Winmalee friends

#### ④オーストラリアの一日の過ごし方

平日の起床はだいたい7時頃でした。朝は自分で好きなものを食べます。シリアルやトースト前日の残り物など比較的手軽に食べられるものが多かったです。家族全員が積極的に家事をしていて家事はお母さんだけがするものではないのだと考えさせられました。その後子どもたちは通学、大人は出勤します。学校は15時頃に終わります。それからおやつを食べてテレビを見たりゲームをしたり個々の時間を過ごします。仕事から帰る時間は職種によって異なりますが、だいたい17時30分頃でした。それから夕食です。メニューは肉料理が多く、品数はあまりないのですが、一品一品のボリュームがありました。就寝時間は21時30分と早めです。オーストラリアは雨があまり降らないので水が貴重です。洗濯は2日に一回で、皿洗いも食洗機で行います。また、シャワーも一回5分程度と早く済ませなければなりません。一人が長く入りすぎると、他の家族のときにお湯が使えなかったというケースも多々あるようです。水は硬水でした。休日は9時前には起床し、教会へ行ったり買い物に行ったり家でくつろいだりします。

また日本では飲酒運転は絶対にしてはいけませんが、オーストラリアでは多少の飲酒は違法ではなく、驚きました。

防犯対策については日本では防犯砂利やカメラなどが主流ですが、オーストラリアでは一日中ラジオをつけっぱなしにするのに驚きました。



Stake



Baked marshmallow

#### ⑤最後に

2週間という短い間でしたがオーストラリアの自然に触れ、オーストラリア人の温かさに触れることのできた素晴らしい2週間でした。普通の海外旅行では決して経験できない体験もでき、この派遣に参加することができ本当に良かったです。自分の英語が通じ、会話が成り立つ喜びは忘れられません。言葉で伝えることがどれほど大切で素晴らしいことかを実感しました。この体験を胸に、今後も国際交流について学んで行こうと思います。派遣前からサポートしてくださった国際交流協会のみなさんをはじめ、家族、Creelman フ

ファミリーのみなさん、ブルーマウンテンズ市の国際交流協会のみなさん本当にありがとうございました。この派遣が三田とブルーマウンテンズの架け橋に少しでも繋がればと思います。